

I アンケート結果

2 農業者アンケート

(1) アンケート調査実施概要

①基準日

令和7年1月1日現在

②調査方法

郵送配布・郵送回収及びオンライン回収

③調査実施期間

令和7年1月10日～令和7年2月28日

④アンケート対象及び送付数

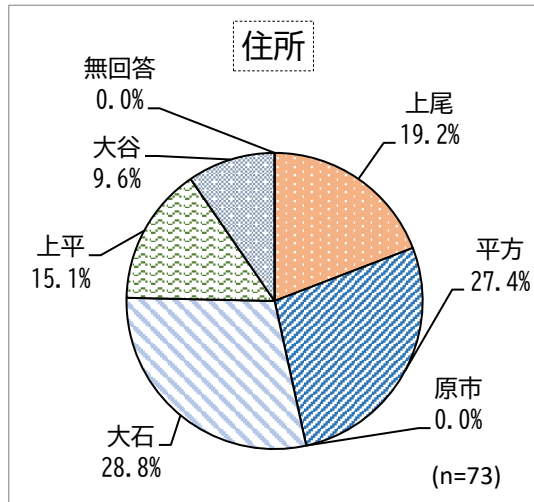
市内農業者 111 件

⑤有効回答数

73 件（有効回答率：65.8%）

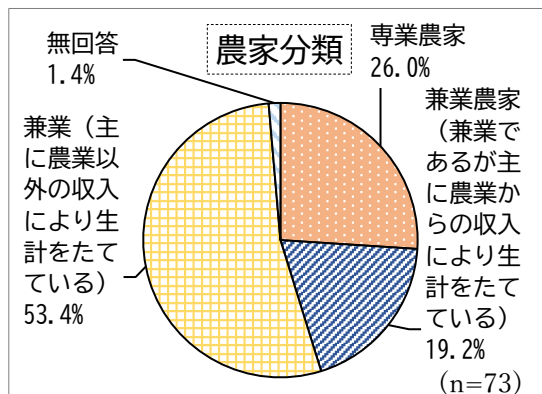
(2) アンケート結果

問 1 あなたの世帯の住所は、どちらの地区ですか。(1 つに○)



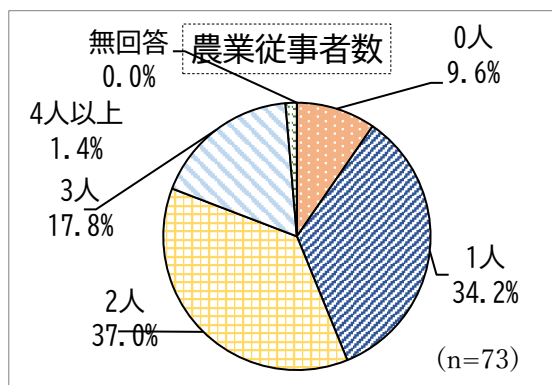
大石地区が28.8%と最も多く、平方地区(27.4%)、上尾地区(19.2%)と続いている。

問 2 あなたの世帯は、農家としてどの分類にあてはまりますか。

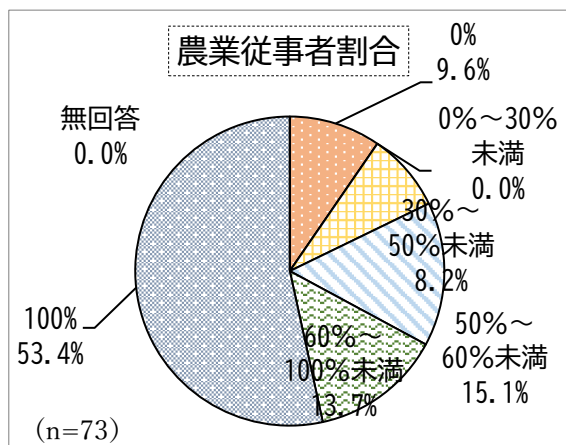


兼業(主に農業以外の収入により生計をたてている)が53.4%と最も多く、専業が26.0%となっている。

問 3 あなたの世帯における農業従事者についてお伺いします。

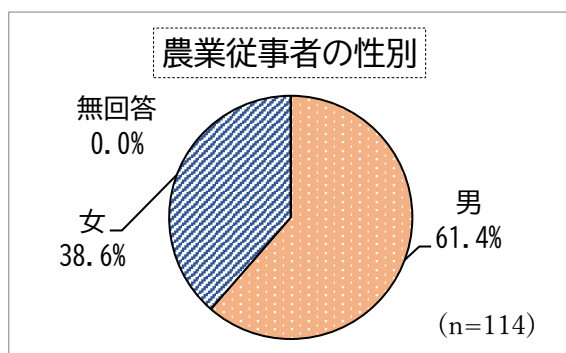


2人が37.0%と最も多く、1人(34.2%)、3人(17.8%)と続いている。

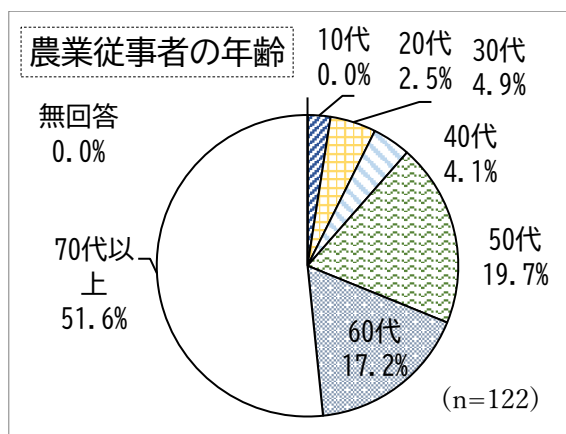


100%が53.4%と最も多く、50%~60%未満(15.1%)、60%~100%未満(13.7%と続いている。

問 4 あなたの世帯の中で、主に農業に従事されている方の性別と年齢について教えてください。

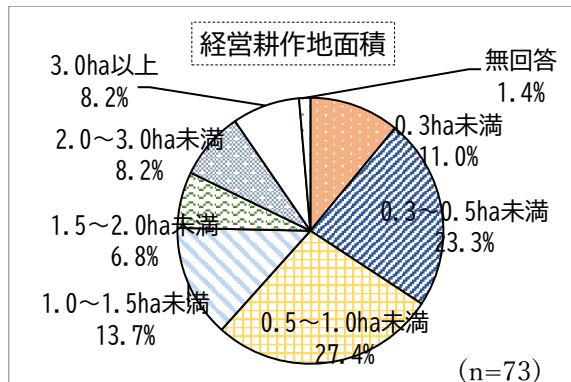


性別については、「男」61.4%、「女」38.6%となっている。



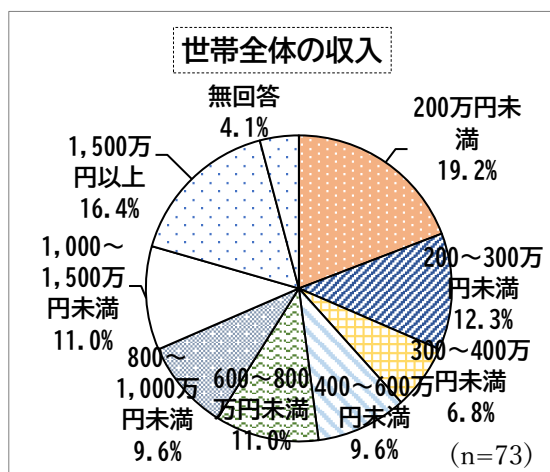
年齢については、「70代」が最も多く51.6%、次に「50代」19.7%、「60代」17.2%となっている。

問 5 あなたの世帯の、経営耕作地の面積はどのくらいでしょうか。



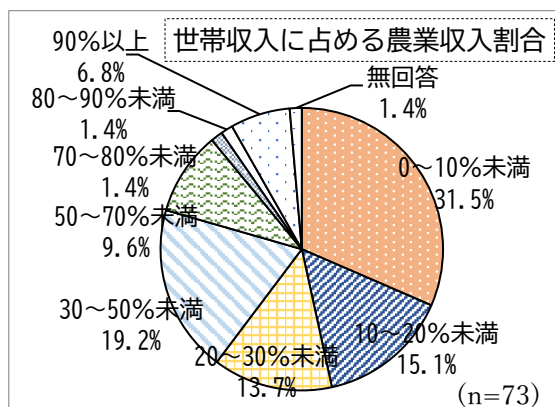
0.5~1.0ha未満が27, 4 %と最も多く、
0.3~0.5ha未満が23, 3%と続いている。

問 6 あなたの世帯の、世帯全体の収入はどのくらいでしょうか。



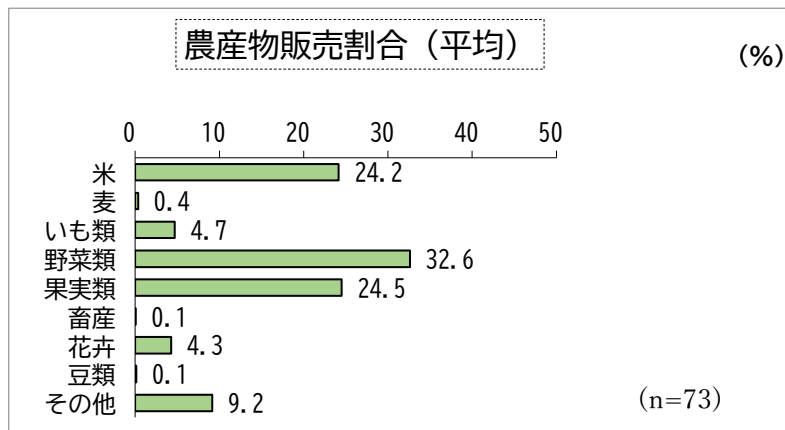
200万円未満が19.2%と最も多く、次いで1,500万円以上が16.4%となっている。

問 7 あなたの世帯の、農業収入割合（世帯全体の収入を100%とした場合、農業からの収入割合）はどれくらいでしょうか。



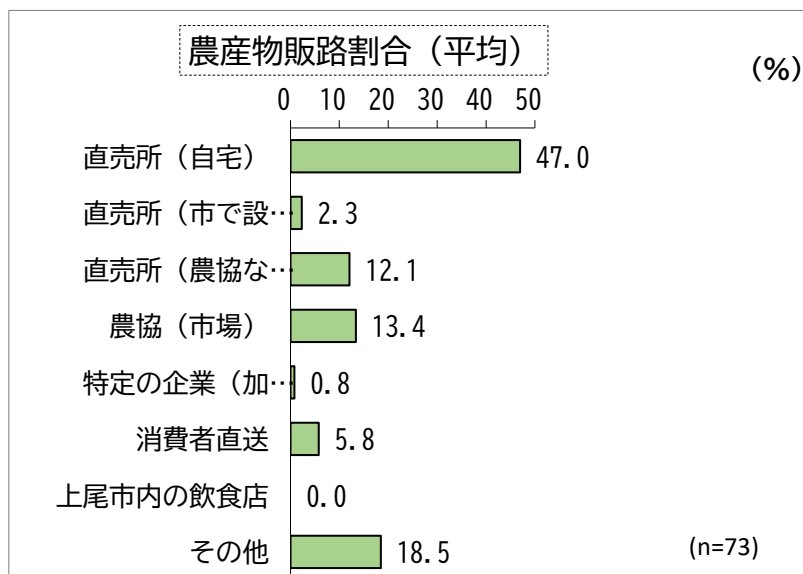
0~10%未満が31.5%と最も多く、次いで30~50%未満(19.2%)、10~20%未満(15.1%)と続いている。

問 8 あなたの世帯の、農産物販売割合は、それぞれどのくらいですか。
(平均値をグラフ化)



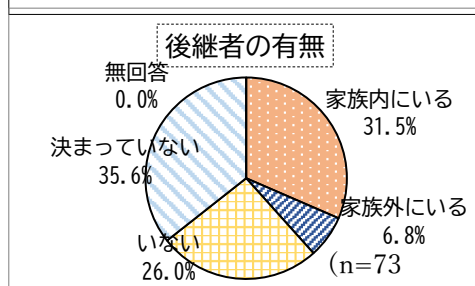
○その他の回答
柿、いちご、植木、筍、
甘藷苗養殖 (観賞魚)

問 9 あなたの世帯では、農産物はどのような販路を通じて販売していますか。
(平均値をグラフ化)



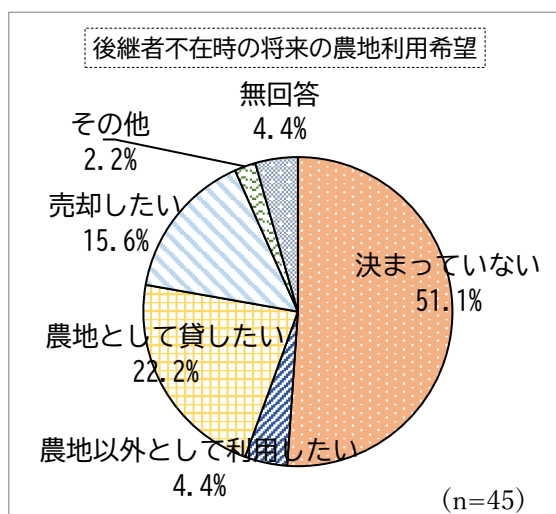
○その他の回答
養殖漁業協同組合、農業体験、摘み取り、米屋、保育園、スーパー、近所の直売所、
無人販売所、大宮市場、ワクワク広場、アリオ、ベニバナ、地方発送

問 10 あなたの世帯の、後継者の有無についてお聞きます。



後継者については、「家族内にいる」が 31.5%、「家族外にいる」が 6.8%と、後継者が決まっている農家は約4割となっている。

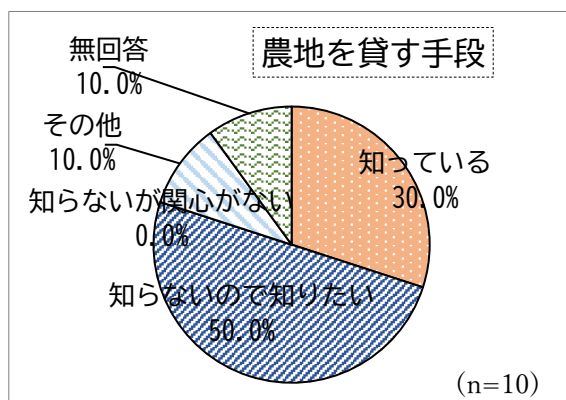
問 11 （後継者は「いない」または「決まっていない」と回答した農業者のみ）後継者が見つからない場合の将来の農地利用の希望についてお答えください。



「決まっていない」が51.1%と過半数を占めた。次いで、「農地として貸したい」(22.2%)となっている。

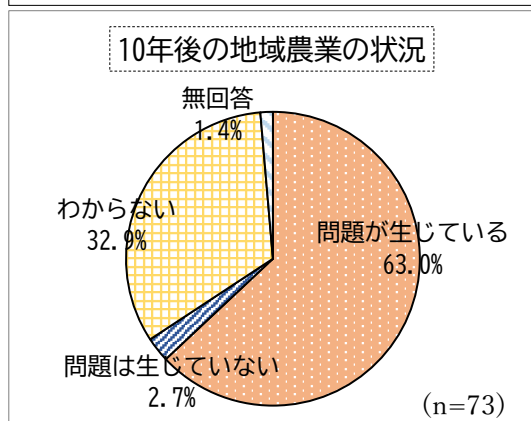
○その他の回答
農地は全て借用している

問 12 後継者が見つからない場合の将来の農地利用の希望について、「農地として貸したい」と回答した農業者のみ）農地を貸す場合の具体的な手段を知っていますか。



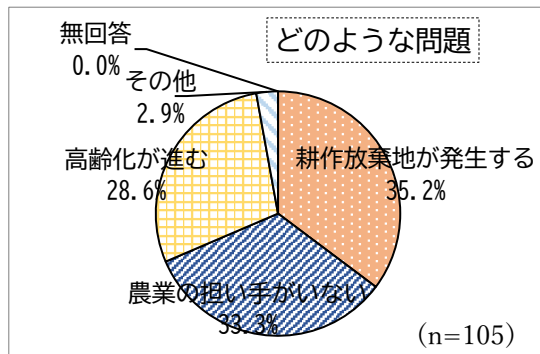
「知らないで知りたい」が50.0%と多く、次いで、「知っている」(30.0%)となっている。

問 13 あなたの地域における、10年後の農業の将来について



「問題が生じている」が63.0%と多く、次いで、「わからない」(32.9%)となっている。

問 13-2 「問題が生じている」と回答した農業者のみ）どのような問題が生じていると思いますか。（複数回答）

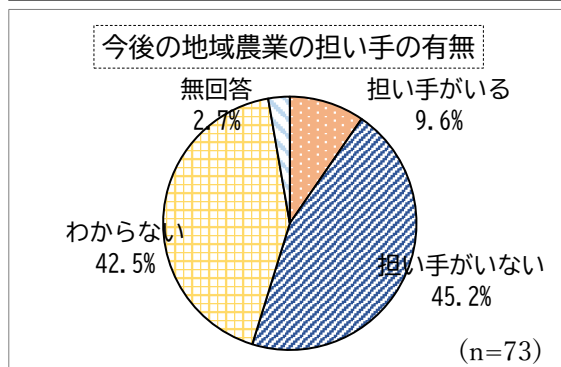


「耕作放棄地が発生する」が35.2%と多く、次いで、「農業の担い手がない」(33.3%)となっている。

○その他の回答

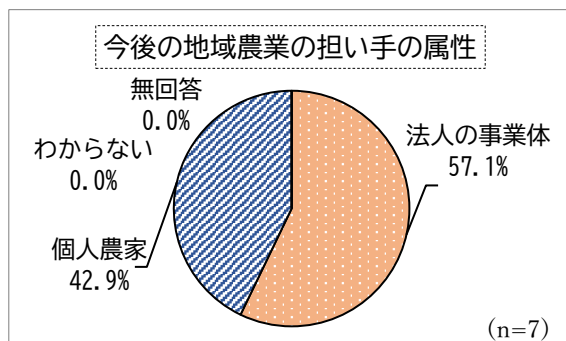
農地法の制限の厳格化。農地が荒地になっていて害獣が多くなっている。雑草と非農耕用の薬剤を使用して作物に影響がある。

問 14 あなたの地域に、今後の地域農業の中心となる担い手がいますか。



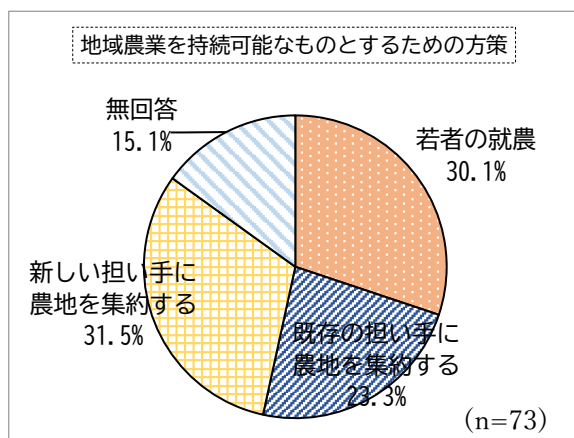
「担い手がない」が45.2%と多く、次いで、「わからない」(42.5%)となっている。

問 14-2 「担い手がある」と回答した農業者のみ）地域農業の担い手はどのようなものですか。

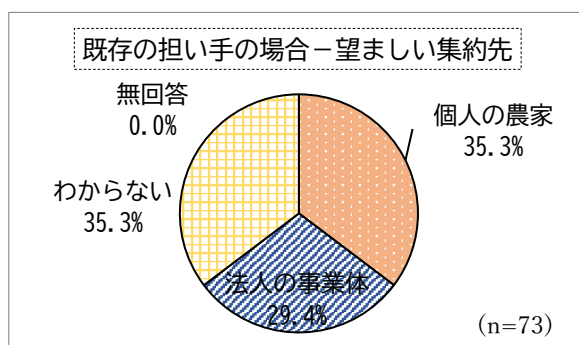


「法人の事業体」が57.1%、「個人農家」が42.9%となっている。

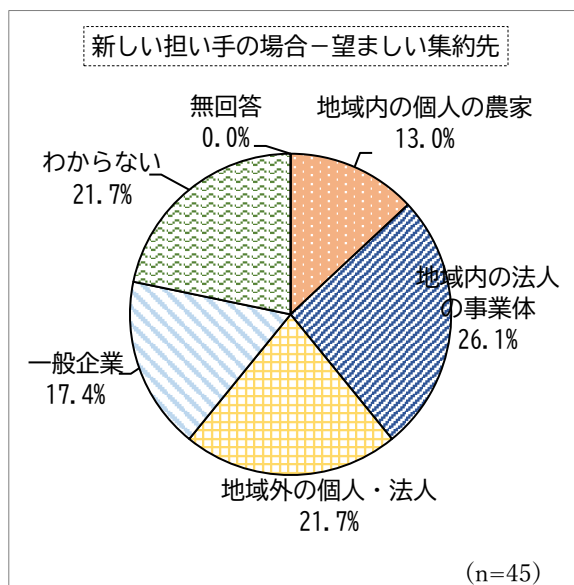
問 15 地域の農業を持続可能なものとするために、今後どうしたらよいと思いますか。



「新しい担い手に農地を集約する」が31.5%、次いで、「若者の就農」が30.1%となっている。

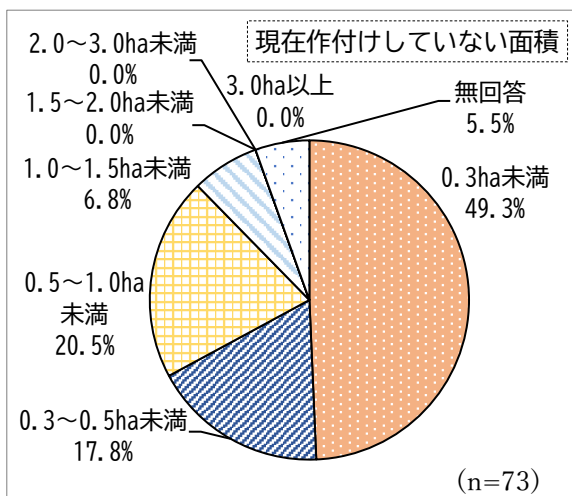


「個人の農家」35.3%、「法人の事業体」が29.4%となっている。



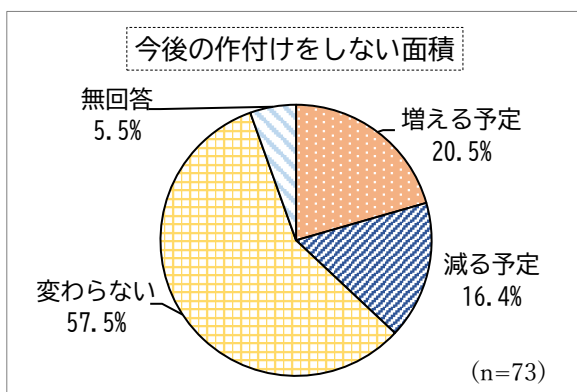
「地域内の法人の事業体」が26.1%、次いで、「地域外の個人・法人」(21.7%)、「わからない」(21.7%)と続いている。

問 16 現在、作付けしていない経営耕作地の面積はどれくらいですか。



0.3ha未満が49.3%、次いで、0.5～1.0ha未満(20.5%)、0.3～0.5ha未満(17.8%)と続いている。

問 17 今後、作付けをしない経営耕作地の面積はどうなると思いますか。

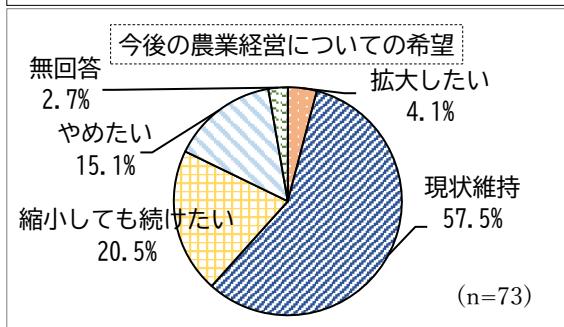


変わらないが57.5%、次いで、増える予定(20.5%)、減る予定(16.4%)と続いている。

○その他の回答

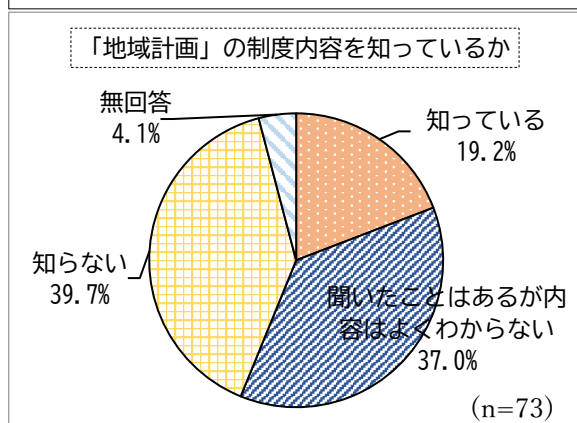
増える予定面積	0.5ha	0.8ha	2.0ha
回答人数	3名	1名	8名

問 18 あなたの世帯の今後の農業経営についての希望をお聞かせください。



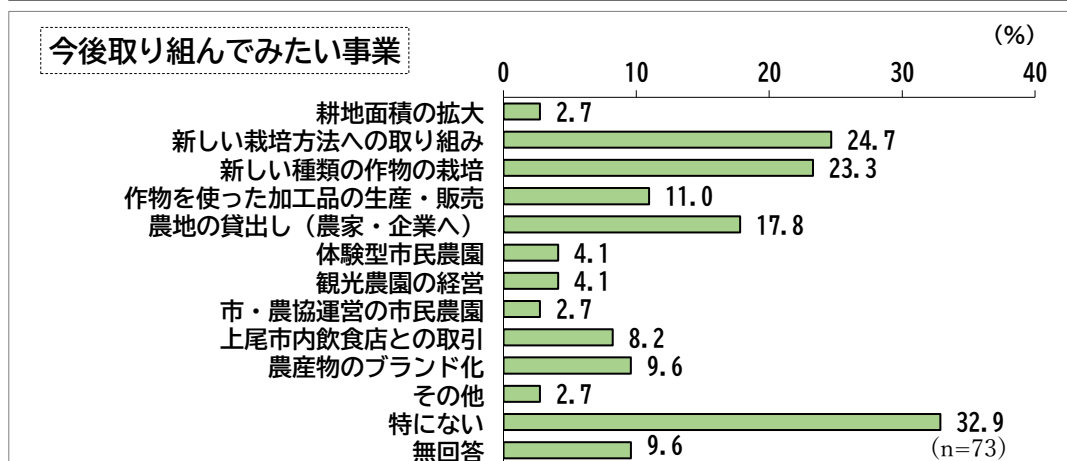
現状維持が57.5%、次いで、縮小しても続けたい(20.5%)、やめたい(15.1%)と続いている。

問 19 地域農業の在り方を示す「地域計画」について制度内容を知っていますか。



知らないが39.7%、次いで、聞いたことはあるが内容はよくわからない(37.0%)、知っている(19.2%)と続いている。

問 20 今後取り組んでみたい事業がありましたら、お答えください。(複数回答)

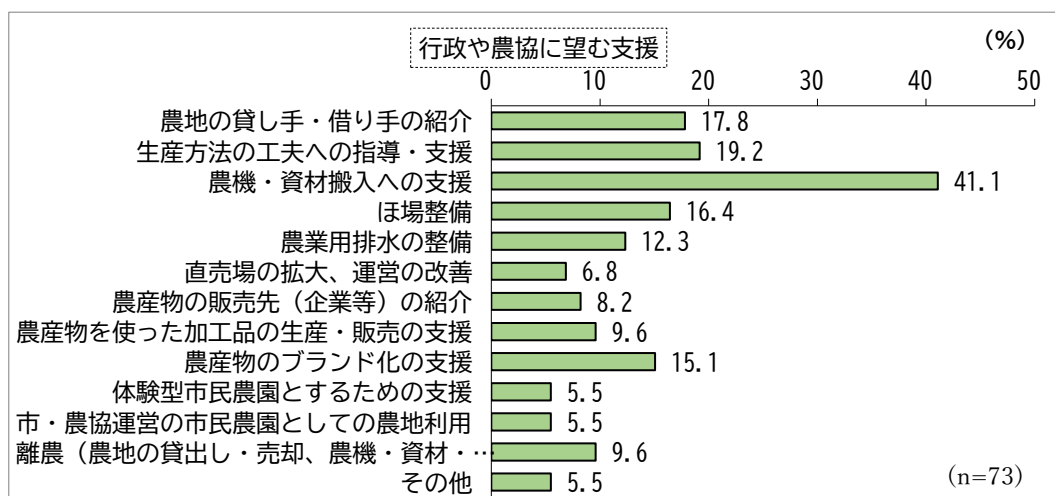


○その他の回答

今まで通り家族で食べる野菜作りと植木の直売所での販売の継続。半農、半×。

今後取り組んでみたい事業は、「新しい栽培方法への取り組み」が24.7%と最も多く、次に「新しい種類の作物の栽培」23.3%、「農地の貸出し（農家・企業へ）」17.8%となっている。

問 21 行政や農協に望む支援がありましたら、お答えください。（複数回答）



○その他の回答

生産緑地の廃止、緑肥化対策への助成金補助、総合収入を増やす、不耕作地の程よい草が生えるような管理でいつでも農地として使える様に保つ補助。(例)大型ハンマーモアで高刈りできる重機などを補助金で買ってレンタル又は作業の補助をして欲しい。

行政や農協に望む支援は、「農機・資材搬入への支援」が41.1%と最も多く、次いで、「生産方法の工夫への指導・支援」が19.2%、「農地の貸し手・借り手の紹介」が17.8%となっている。